

平成26年度教育委員会事務事業点検評価表全件リスト(平成25年度分)

[評価基準]

A: 取り組みに優れ、十分成果が上がってる

B: 一応の成果が上がっている。

C: 成果が十分上がっておらず、改善の余地が多い。

D: 成果が殆ど上がっておらず、抜本的な見直しが必要。

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
	家庭・地域における青少年教育の充実・支援			
1 (53-1)	家庭教育推進事業 3,288 <目的> 乳幼児・児童の保護者を対象に家庭教育の学習機会を設け、家庭での子どもの教育を充実させます。 <実績> ・乳幼児家庭教育学級の開催しました。 ・年に11回、0歳～3歳の子をもつ保護者を対象に、子育てについて自らテーマをもって学習する「たんぼぼ学級」の学習会を開催しました。 ・市内5小学校、2中学校、1園の家庭教育学級への支援を行いました。 ・各校・園に家庭教育学級の事業委託として、それぞれ3万円の補助金を交付しました。	A	A	A
2 (53-2)	青少年健全育成事業 8,497 <目的> 「大人が変われば、子どもが変わる」をスローガンにして、青少年の健全な育成を図ります。 <実績> ○わたしの主張美濃市大会を開催しました。 ・市内小中高の代表9名による「わたしの主張」の発表会の開催しました。 ○夏休みに向けての子ども育成指導講演会を開催しました。 ・7月の青少年非行・被害防止全国強調月間に合わせて開催しました。 ○青少年育成「市民のつどい」を開催しました。 ・市民を対象にした善行表彰、「夢」～描いた夢は努力でかなう～をテーマに、夢の実現に向けて努力することについて、基調講演、コマ回しの実演を実施しました。 ○少年補導センターによる街頭補導、非行防止活動、子ども会育成協議会、JLC活動の支援を実施しました。	A	A	A
3 (53-3)	勤労青少年ホーム施設管理経費 3,952 <目的> 勤労青少年ホームを運営管理することにより勤労青少年の健全な育成と福祉増進を図ります。 <実績> 定期使用団体によるダンス、ヨガ、アマチュアバンド、太鼓練習などの利用がありました。また定期使用団体以外で各団体の練習会場や会議室等としての使用がありました。 (開館日数 296日)	A	A	A

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
	人権同和教育の推進			
4 (53-4)	人権教育・啓発推進事業 1,450 <目的> 「美濃市人権教育・啓発の指針」に基づき、市民一人ひとりが人権に関するさまざまな課題について認識を深めるために、学校・地域・家庭・職場その他あらゆる場を通じて教育を行います。 <実績> ・人権問題市民啓発講演会の開催しました。 ・地区公民館において、人権学習会を開催しました。 ・人権週間の活動を実施しました。 ・人権啓発講演会と「わたしのメッセージ展」を開催しました。 ・人権問題交流会の開催を開催しました。	A	A	A
	生涯学習振興と環境整備			
5 (53-5)	梅山大学活動事業 708 <目的> 高齢者が、生涯学習を通じてその年齢にふさわしい社会的能力を高め、教養を研鑽します。 <実績> ・入学式・開講式および卒業式・閉講式の挙行。 ・中央研修として、1泊研修、日帰り研修、文化祭、講演会などを実施。 ・クラブ活動ごと、あるいは地区ごとに独自の活動を実施。	A	A	A
6 (53-6)	生涯学習推進事務事業 13,188 <目的> 「1市民・1芸・1スポーツ・1ボランティア」の実践に向け、市民のライフスタイルに合わせた、多様な生涯学習の提供と学習環境の充実を図ります。 <実績> ・子ども創造館事業:岐阜大学と森林文化アカデミーと連携して、子どもを対照にしたワークショップを11回実施しました。 ・いきいき保険:安心して生涯学習が行えるよう全市民を対象に市民活動災害補償保険に加入しました。 ・生涯学習センターなど生涯学習施設の適正な維持管理に努めました。	A	A	A
	図書館事業の充実			
7 (53-7)	図書館運営事業 14,100 <目的> 図書資料・情報の収集、施設の充実により「知の拠点」として、市民の学習機会の場に供します。 <実績> 専門化、細分化した図書や最新の情報に沿った図書を購入しました。 はじめまして絵本、読み聞かせ会講習会等で幼児期の読み聞かせの大切さやその方法を保護者に指導し、子どもの読書活動を推進しました。 移動図書館や古本市などを実施し、図書サービスの多様化を図りました。 耐震診断を行い現状を把握するとともに改修計画を作成しました。	A	A	A

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
	公民館事業の充実			
8 (53-8)	成人式開催事業 2,127 <目的> 成人式を開催することにより、社会生活での自立と自覚を促します。 <実績> 成人式は美濃市文化会館で開催しました。 各地区から実行委員を選出し、実行委員の企画立案により運営を行いました。 ・平成25年度は、2回実行委員会を開催しました。 ・成人式対象者253名 成人式出席者223名	A	A	A
9 (53-9)	中央公民館運営補助事業 19,015 <目的> 生涯学習を推進し、地域社会活動を促進するために中央公民館の運営管理をします。 <実績> 美濃市中央公民館の職員は現在3名ですが、うち1名は梅山大学および美濃公民館の事務を主にしているため、中央公民館の事務については2名で行っています。 中央公民館の主催する生涯学習講座は25講座を計画し21講座を実施、延べ2,418人回の出席があり、この講座の成果を生涯学習フェスティバルで発表しました。 定期的を使用している団体は78団体があり、そのうち27団体が生涯学習団体作品展において活動の成果を発表しました。 その他の貸し館が1,473件ありました。	A	A	A
10 (53-10)	市美術展事業 1,951 <目的> 美術展の開催により、水準の高い文化を創造します。 <実績> 6部門(洋画、日本画、彫塑・工芸、書、写真、和紙画)144点の出品がありました。 その中から市展賞、市長賞、教育委員長賞、優秀賞、奨励賞、入選を選考し、美術展最終日に表彰を行いました。	A	A	A
11 (53-11)	地区公民館施設管理事業 7,332 <目的> 生涯学習を推進し、地域社会活動を促進するために地区公民館の運営管理をします。 <実績> 洲原、上牧、大矢田、藍見、中有知の5公民館の管理運用がスムーズに行われるよう、需用費、役務費、管理人委託料などを負担し、これらが適正に使用されるよう指導します。	A	A	A

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
	生涯スポーツの振興と環境整備			
12 (53-12)	市体育館施設管理事業 6,064 <目的> スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、市体育館を適正に維持管理します。 <実績> 美濃市体育館・洲原体育館・大矢田体育館の3施設の管理 ・体育施設管理業務委託 ・清掃委託 ・消防設備点検業務委託 ・浄化槽保守点検業務委託 ・光熱水費など	A	A	A
13 (53-13)	各地区グラウンド施設管理事業 8,786 <目的> スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、地区グラウンドを適正に維持管理します。 <実績> ・下牧・御手洗・大矢田・藍見・中有知の5箇所のグラウンドの管理業務委託 ・光熱水費など ・グラウンドの土の補給	A	A	A
14 (53-14)	和紙の里スポーツ広場施設管理事業 6,020 <目的> スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、和紙の里スポーツ広場を適正に維持管理します。 <実績> ・委託管理業務委託 ・電気設備保守点検業務委託 ・浄化槽清掃点検業務委託 ・光熱水費など	A	A	A
15 (53-15)	運動公園施設管理事業 10,980 <目的> スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、運動公園を適正に維持管理します。 <実績> ・運動公園管理業務委託 ・テクノパーク・テニスコート管理業務委託 ・浄化槽維持管理業務委託 ・電気設備保安管理業務委託 ・貯水槽点検清掃・水質検査業務委託 ・光熱水費など	A	A	A
16 (53-16)	台山ヒロック施設管理事業 1,293 <目的> スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、台山ヒロックを適正に維持管理します。 <実績> ・除草剤の購入、台山ヒロックのポンプ・トイレの電気料金、トイレの上下水道料	A	A	A

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
17 (53-17)	市民プール施設管理事業 20,553	A	A	A
	<目的> スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、市民プールを適正に維持管理します。  <実績> ・市民プール監視等管理業務委託 ・ろ過装置点検整備業務委託 ・ウォータースライドの保守点検 ・ろ過装置の修繕 ・光熱水費の支払いや消毒液の購入			
18 (53-18)	夜間学校開放施設管理事業 2,060	A	A	A
	<目的> スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、各小中学校体育館を適正に維持管理します。  <実績> ・学校開放体育館6カ所の鍵の貸出業務を委託			
19 (53-19)	体育施設改修等事業 2,092	A	A	A
	<目的> 老朽化及び損傷した体育施設を修繕し、利用者の安全確保とスポーツ振興及び市民の健康づくりを促進します。  <実績> ・美濃市体育館・洲原体育館・大矢田体育館 ・曾代テニスコート・和紙の里テニスコート・テクノパークテニスコート ・曾代グラウンド・和紙の里スポーツ広場グラウンド・各地区グラウンド ・市民球場・市民プール ・生涯学習施設体育館・各学校体育館 以上施設修繕を行う。			
20 (53-21)	スポーツ推進委員活動事業 2,850	A	A	A
	<目的> スポーツ振興のため、スポーツの実技指導及びその他スポーツに関する指導助言を行います。  <実績> ・各種スポーツ教室の開催(親子水泳教室外3教室・参加者89名) ・地区、県、東海、全国研究大会参加 ・各種スポーツ大会の協力及び講習会の開催			
21 (53-22)	各種体育大会開催事業 1,201	A	A	A
	<目的> 「1市民1スポーツ」の実現を目指して各種体育市民大会を開催します。  <実績> 親子水泳教室ほか3教室の開催及び8種目のスポーツ大会開催によりスポーツとの出会いの場の提供と市民の健康増進に努めました。			

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
	スポーツ団体と指導者の育成			
22 (53-23)	体育協会補助事業 3,139 <目的> スポーツの普及と競技スポーツの振興、市民の健康づくりに寄与することを旨とする体育協会を支援してスポーツ活動の正しい普及発展を図ります。 <実績> ・市民大会の開催 ・ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージの開催 ・競技種目団体への育成費・強化費の助成 ・スポーツ少年団への助成金交付 ・機関紙の発行 ・特別強化事業の開催 ・優秀指導者、優秀選手の表彰 ・全国大会出場者激励会の開催	A	A	A
	23 (53-24)	スポーツ少年団活動補助事業 4,443 <目的> スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年にスポーツを振興し青少年の心身の健全な育成を図ります。 <実績> ・交流大会(5年生団員による宿泊研修) ・母集団研修会 ・一日体験入団 ・指導者・育成者」表彰式及び「優秀団・優秀団員」表彰式	A	A
24 (53-25)	スポーツ振興事業 3,095 <目的> スポーツ教室の企画・運営、各種スポーツ大会のマネジメントを実施してスポーツ振興を図ります。 <実績> ・各種スポーツ大会のマネジメント ・各種スポーツ教室の開催 ・体育施設の貸出、料金徴収 ・NPO法人うだつアップクラブへの業務委託	A	A	A
	競技スポーツの支援			
25 (53-26)	ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージ開催補助事業 9,880 <目的> 自転車国際ロードレースツアー・オブ・ジャパンを開催し、スポーツ振興と自転車普及促進を図るとともに、美濃市を自転車のまちとしてPRします。 <実績> ・ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージの開催	A	A	A

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
	文化芸術の振興と市民活動の支援			
26 (53-27)	文化会館運営事業 8,592  <目的> 舞台芸術を中心とした公演を実施・誘致して、市民の文化力を向上を図ります。  <実績> ・安全安心な施設をめざして、設備の定期点検を行うとともに、老朽設備の改修を実施しました。 ・舞台での催し物において、出演者も観賞者も満足するよう、舞台技術業務を専門業者に委託しました。 ・市民の芸能文化発表のために、文化協会を核にした芸能大会を開催しました。 ・当市の伝統芸能「美濃流しにわか」の笑いと風刺文化をさらに盛り上げるため、自主事業で「うだっアゲアゲお笑いライブ」を開催しました。	A	A	A
27 (53-28)	芸術文化協働推進事業 1,080  <目的> 市民協働による文化芸術活動の促進及び支援し、文化芸術及び文化力の向上を図ります。  <実績> 市民文化の向上を目的に設立された「NPO法人 四つ葉のコウゾ」に事業委託し、協働事業とし、市内各団体と連携しながら、“ウタガキ・美濃”と銘打って5回のコンサートや、他2回の各団体への協力を実施し、幅広く活動を展開しました。	A	A	A
	国内・海外との文化交流の促進			
28 (53-29)	アーティスト・イン・レジデンス事業 7,080  <目的> 芸術家と市民の交流を進めるとともに、紙芸術・紙文化を発信して地域文化の向上を図ります。  <実績> 国内外の芸術家を美濃市に招聘し、ホームステイ方式で滞在して美濃和紙を使った創作活動を展開しました。 滞在期間中には、美濃和紙の紙すき研修、あかりアート展出品、工房の公開、小中学校等でのワークショップなどを開催し、市民交流を行いました。	A	A	A
29 (53-30)	ユネスコ関連事業 11,685  <目的> 本美濃紙・美濃和紙の保存・継承及び産業・観光振興のため、また、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた海外情報発信・文化交流を実施します。  <実績> イタリア・アマルフィ市との紙の文化交流友好協定の締結、文化交流事業(美濃和紙あかりアート展、本美濃紙保存会による紙漉き実演、伝統工芸ちょうちん製作実演、学術シンポジウム)の開催しました。	A	A	A

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
	文化財の保護・保存と活用			
30 (53-31)	市内遺跡発掘調査事業 5,584 <目的> 各種開発に伴う事前の試掘調査や保存目的の測量・発掘調査等を行い、遺跡の保全・保護する。 <実績> ・各種開発に伴う試掘調査・立会調査 13件 ・保存目的の測量・発掘調査 2件	A	A	A
31 (53-32)	民俗伝統文化財記録保存事業 3,151 <目的> 民俗資料を収集し郷土資料として整え、歴史学習、生涯学習に活用します。 <実績> 過去に収集を行った民俗資料を整理し、保管します。資料を精査し、必要な資料は新たに収集しました。公開時期を設け、公開・活用しました。	A	A	A
32 (53-33)	市指定文化財修理等補助経費 881 <目的> 市民の財産である文化財を保護・保全・伝承していくため、市指定文化財を修理・修復します。 <実績> 市指定文化財の修理に対し、美濃市文化財保護費補助金交付要綱にもとづき補助金を交付しました。 ・俵町浦島太郎修理 ・広岡町花咲翁修理	A	A	A
33 (53-34)	指定文化財保存整備事業 7,842 <目的> 市民の財産である文化財を保護・保全・伝承していくため、県指定文化財を修理・修復を支援します。 <実績> 県指定文化財保護費補助交付金要綱にもとづき補助金を交付しました。 ・大矢田ひんこ収蔵庫新築 ・相生町山車蔵修理 ・港町にわか太鼓修理	A	A	A



番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
34 (53-35)	文化遺産活用推進事業 12,480	A	A	A
	<目的> 市内地域の多様で豊かな文化遺産(伝統行事・伝統芸能を含む。)の保護・保全、次世代への継承を目指して、本市の歴史や地域伝統文化の理解を得られるように各地域の実情に適した総合的な取組を支援します。 <実績> 市内文化財保存団体の代表で構成する美濃市文化遺産活用実行委員会への補助。 ・美濃和紙あかりアート展において本美濃紙保存会の紙漉き実演(美濃和紙あかりアート館)開催。 ・元文化庁監査官荻谷勇雅氏の講演会(旧今井家住宅)の開催。(H25.11.2) ・美濃市の歴史(概要版)の編集・刊行。 ・本美濃紙冊子(イタリア語版)の編集・刊行。 ・町並みパンフレット(外国語版)の編集・刊行。 ・文化財悉皆調査の実施(清泰寺、大矢田神社、誕生八幡神社、八幡神社)。			
本美濃紙の伝承				
35 (53-36)	本美濃紙保存会補助事業 1,100	A	A	A
	<目的> 国指定重要無形文化財「本美濃紙」を次世代へ継承するため、製作技術の保存及び伝承者の養成を支援する。 <実績> 「本美濃紙」の保持団体である「本美濃紙保存会」が行う技術保存、伝承者養成事業への補助。保存会の事業総額5,500,000円のうち、国庫補助額5,000,000円県費220,000円への追加的補助。美濃市補助金等交付規則第4条。人づくり文化課は会の事務局を担当し、会が行う諸事業について事務的に支援しました。			
重要伝統的建造物群保存地区と周辺地区の保全				
36 (53-37)	町並み保存整備事業 17,942	A	A	A
	<目的> 伝統的建造物群保存地区内の歴史的風致を維持し、伝統的・歴史的な景観を向上させます。 <実績> 5件の修理に対し、補助金執行事務を行いました。 ・まちなかの駅家主屋 3,659千円 ・鈴木家土蔵 5,344千円 ・古川家主屋 6,000千円 ・森井家主屋 1,540千円 ・事務費 119千円			

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
	幼児教育の充実			
37 (52-1)	幼稚園就園運営支援事業 13,159  <目的> 家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担の軽減を図る。 私立幼稚園の経費の負担を軽減し、幼児教育の振興及び充実を図る。  <実績> 私立幼稚園に就園している美濃市在住の満3歳～5歳児保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の振興を図るため入園料及び保育料の一部を補助しています。補助対象は、該当園児がいる世帯で平成25年度市民税所得割課税額の合計が211,200円以下の世帯に限ります。補助金額は、62,200円～308,000円(文部科学省の補助金も含む)。申請受付及び支払いは、在園幼稚園を通じて配布しました。また広報等に掲載し私立幼稚園就園奨励費補助事業の周知を図りました。 ・広報掲載日 6月1日・11月15日 ・申請数 1回目98名、2回目12名 支払い決定者110名 ・美濃市内にある私立幼稚園1園に経費の負担の軽減を図るため658,000円の補助をしています。	A	A	A
	基礎学力と基礎体力の向上			
38 (52-2)	少人数指導等教育推進事業 40,333  <目的> 円滑な学校運営を目指し、児童生徒の学力の向上を図る。  <実績> ○複数指導者による授業を実施するため、非常勤講師を配置 <配置基準> ・小1～3年 31人以上の学級に配置 ・小4～6年 36人以上の学級に配置 ・中1～3年 36人以上の学級に配置(※30人以上の学級が学年3クラス以上の場合は1名配置)	A	A	A
39 (52-3)	国際交流(外国青年招致)事業 5,221  <目的> ネイティブスピーカーであるALTを中学校に配置し授業を行うことで、中学校の英語授業の内容を高める。  <実績> ○中学校2校へのALTの巡回配置 ・英語教師とALTによるTT指導を仕組み、英語の授業の充実を図る。 ・ネイティブスピーカーの英語に触れることで、より正確な発音を学ばせる。 ・外国人とのコミュニケーションに意欲的に取り組ませる。	A	A	A
40 (52-4)	小中学校教員補助員設置事業 13,178  <目的> 学習不適應や生活支援を必要とする児童生徒への支援に向け、特別支援員の活用状況を向上させる。  <実績> ○特別支援を必要とする児童生徒の在籍学校へ特別支援員を配置 ・学校において、配置された特別支援員の効果的な活用を行う	A	A	A

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
	ふるさと(人と郷土を大切にする)教育の推進			
41 (52-5)	和紙教育振興事業 497 <目的> 美濃市の伝統文化である美濃和紙づくりを体験させることで、児童生徒の美濃市への興味関心を高めるとともに、伝統ある美濃市を誇りに思う気持ちを育む。 <実績> ・小学校4年生の紙漉き体験 ・小学校6年生、中学校3年生の卒業証書の紙漉き ・牧谷小学校における「和紙の里学校」としての和紙教育課程の推進	A	A	A
42 (52-6)	特色ある学校づくり事業 4,137 <目的> 子どもたちに豊かな体験や経験をさせることを目指し、各学校において特色ある教育活動を実践する。 <実績> ○各学校ごとに特色ある教育活動の実践 ・地域の人材や特色を生かした教育実践をする ・子どもたちの感性を引き出す教育実践をする	A	A	A
43 (52-7)	士幌町フレンドシップ交流事業補助経費 9,440 <目的> 小学校6年生に豊かな体験活動を経験させることを目指し、事業への参加率を高める。 <実績> ○4泊5日の士幌町訪問事業 ・約30時間の船での移動(先人の苦労を学ぶ) ・士幌町での自然体験 ・士幌町でのホームステイ ○士幌町訪問団歓迎事業 ・士幌町の児童を向かえ、交流事業やホームステイの受け入れを行う	A	A	A
	児童・生徒・保護者への相談体制強化			
44 (52-8)	ほほえみ登校推進事業 1,495 <目的> 学校生活での不適応児童・生徒の学校復帰をめざす。 <実績> 1 適応指導教室(子どもたちの心の安定をはかりながら、学校復帰のための支援を行う)。 2 教育相談 (不登校・いじめ・学習や生活習慣、親子関係等に関する相談活動)	A	A	A
45 (52-9)	心の教室相談員設置事業 3,130 <目的> 児童生徒の悩みやストレスの軽減にむけ、学校での相談対応率を向上させる。 <実績> ○小中学校への心の相談員の配置 ・相談対象者の多い小中学校へ配置し、子どもたちの相談対応を行う ・学校職員と連携をとり、教育相談体制の充実を図る	A	A	A

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
	人権同和教育の推進			
46 (52-10)	人権教育推進事業 849 <目的> 人権への正しい理解と人権意識の高揚を育むために人権教育を推進する。 <実績> ○地域ぐるみの人権教育の推進及び啓発の推進に関する取り組み ・市人権同和教育研修会 ・「私のメッセージ展」実施 ・資料集作成 ○人権教育における教職員の指導力向上をめざした実践研究に関する取り組み ・学校人権同和部会 ・学校同和教育研究会 ・人権同和問題市民啓発講演会 ・美濃市人権同和教育実践資料集作成	A	A	A
	学校規模の適正化と教育環境の整備			
47 (51-1)	児童・生徒(スクールバス)事業 30,925 <目的> 遠距離通学児童・生徒の送迎のためのスクールバスを運行し、児童・生徒の通学時の安全確保を図ります。 <実績> 美濃小学校スクールバス4台(マイクロバス型) 牧谷小学校スクールバス4台(マイクロバス型) 大矢田小学校(半道地区)1台 (ワゴン車型) 美濃中学校スクールバス4台(マイクロバス型) 遠距離通学児童・生徒のためスクールバス13台の適正な運行委託および維持管理を行いました。	A	A	A
48 (51-2)	教育用コンピューター関係経費 16,096 <目的> 小中学校にコンピューターを整備し、各教科授業で活用したICT社会に対応した教育を進める。 <実績> コンピュータ機器設備の維持管理	A	A	A
49 (51-3)	小中学校施設改修事業 12,986 <目的> 児童・生徒が安全に安心して学ぶことができる学校教育環境を整備します。 <実績> 建築年度や現在の状況を総合的に判断し、学校と調整しながら施設や設備の改修を行いました。 主な事業内容 ・美濃小学校南舎屋上東側及び3階ベランダ防水改修工事 6,773,550円 ・中有知小学校体育館屋根防水改修工事 1,535,100円 ・美濃中学校ガス自動警報器調整器等修繕 189,000円 ・昭和中学校プール入口階段修繕 198,975円	A	A	A

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
50 (51-4)	小中学校大規模改造事業 448,460	A	A	A
	<目的> 児童・生徒が安全に安心して学ぶことができる学校施設設備を整備します。 <実績> 空調機器設置教室数 美濃小学校 21教室、牧谷小学校 9教室、大矢田小学校 8教室、 藍見小学校 11教室、中有知小学校 13教室。美濃中学校 21教室、 昭和中学校 10教室。 ・小中学校校舎内の全てのトイレ改修。 ・小学校空調機器設置及びトイレ改修工事設計委託等 1,869,000円 ・中学校空調機器設置及びトイレ改修工事設計委託等 2,601,900円 ・小学校空調機器設置工事及びトイレ改修工事等 305,924,595円 ・中学校空調機器設置工事及びトイレ改修工事等 135,824,850円			
51 (51-6)	遠距離通学助成事業 3,405	A	A	A
	<目的> 遠距離通学生徒に通学時の交通機関利用料金を支援することにより、 通学時の安全性と義務教育の円滑化を図ります。 <実績> 通学距離が、3キロメートル以上の交通機関を利用して通学する児童 生徒を対象として通学費を全額助成する。 美濃中校下:洲原・立花地区の長良川鉄道通学生徒の利用料金の全 額支給。			
創造力を豊かにする教育の推進				
52 (51-7)	フラワーデザイン事業 648	A	A	A
	<目的> 学校内での花壇づくりを通して、感性豊かな子どもを育成します。 <実績> 児童と教師が協働して、花壇のデザインおよび種や苗を工夫して、学 校のシンボルとなるような花壇づくりを行いました。			
53 (51-8)	図書購入事業 1,866	A	A	A
	<目的> 児童生徒の読書活動の充実及び学校図書館の活性化を図ります。 <実績> 各学校図書館における児童生徒のニーズに応じた計画的な各図書類を購入しました。 各学校図書館 購入冊数 蔵書冊数 美濃小学校 445冊 14,762冊 牧谷小学校 119冊 7,627冊 大矢田小学校 369冊 7,013冊 藍見小学校 124冊 7,917冊 中有知小学校 197冊 9,019冊 美濃中学校 509冊 17,644冊 昭和中学校 297冊 8,976冊			

番号	事業名 (単位:千円)	評価		
		担当課	点検評価 懇談会	教育 委員会
	学校給食の充実			
54 (51-9)	<p>学校給食センター運営事業 161,090</p> <p>&lt;目的&gt; 安全で安心なおいしい学校給食を提供します。</p> <p>&lt;実績&gt; ・給食実施日数 196日 日平均1,690食 試食会138食/5校 バイキング給食 249食/4校 ・主食の実績 麦ごはん123日、パン40日、麺類33日 ※米飯給食実施率 62.8% ・変わりごはん(センター炊飯)の提供 五目、山菜、栗五目ごはん ・毎月の献立表を児童生徒を通じ保護者へ配布、毎日の献立の放送資料を学校へ配布 ・地元野菜の使用量 4,029kg 全体の12.2% ・調理等業務の民間委託への推進 ・調理機器修繕等執行事務 39件 調理備品関係修繕10件、ボイラー及び配管関係修理11件、ガス供給装置等設備修繕7件、 その他11件 ・給食費現年度分収納率 100%、給食費滞納繰越分収納率 39.3%(未納額 536,624円)</p>	A	A	A
	児童・生徒・保護者への相談体制強化			
55 (51-10)	<p>就学支援事業 9,876</p> <p>&lt;目的&gt; 経済的理由等により就学が困難な児童・生徒の就学を支援し、保護者の経済的負担を軽減して平等に義務教育を受けられるようにします。</p> <p>&lt;実績&gt; 本市立小中学校に在籍する児童・生徒の保護者で、前年の世帯合計所得額が生活保護基準で算出した認定基準額以下の者に対して学用品費、学校給食費等を年4回に分けて支給しました。 ・要保護及び準要保護児童・生徒人数(25年度末) 89人 ・特別支援教育就学奨励費対象児童・生徒(25年度末) 30人</p>	A	A	A